



明新地区社会福祉協議会 明新げんき倶楽部



つまみ細工を活用しよう

明新地区自治会型デイホーム「明新げんき倶楽部」では、地区のパーチメントクラフト教室の美濃村先生を講師に招いて、つまみ細工を活用した飾りに挑戦しました。

つまみ細工は、江戸時代中期頃から伝わる日本の伝統工芸です。小さく切った布をつまんで折りたたみ、花びらを作ります。それを和紙に貼り、裏から押し広げたり、丸みを持たせるなどして形を整えて完成です。

「難しそう、でも覚えると簡単」と、あちらこちらから楽しそうな声も聞こえました。この日は、参加者と協力者を合わせて50名となり、小声で話し、笑い、笑顔もいっぱいでした。これからも、感染予防対策をしっかり行いながら、開催していきたいです。

明新地区専任職員 金子 一美

一乗地区社会福祉協議会 一乗ひだまり



竹の子スタンプで春が来た

一乗地区自治会型デイホーム「一乗ひだまり」では、葉書に竹の子スタンプを押し、額縁替わりの色画用紙に貼り、壁飾りを作りました。

丸みを帯びた三角に切った段ボール紙に、茶色の絵の具を筆で塗った竹の子スタンプでペタン、ペタン。竹の子の皮の先端は黄緑色で小さく色を差して表現してもらいました。

元氣よく伸びる竹の子に添える文字を考えたり、普段の生活の中にはあまり無い作業に戸惑いながら、取り組んで頂きました。

朱色の《春》の落款を押すと、絵葉書も引き締まり、周囲にまだ雪が残る2月の一乗地区でしたが、会場の窓から見える竹林より一足、いえ二足程早く春の気配を感じ、本物の竹の子の収穫も待ち遠しくなりました。

一乗地区専任職員 山口 仁美



ゲームも楽しみ
ました♪